

読売新聞 きょう（1月11日）のイチ押し

1面・社会面 福井大雪1000台超立ち往生

日本海側を中心に降った大雪の影響で、福井県の北陸自動車道の上下線では9日午後以降、一時1000台を超える車の立ち往生が起きました。立ち往生は富山県の東海北陸自動車道でも発生し、両県は陸上自衛隊に災害派遣を要請しました。

- ★ 福井市の9日（24時間）の降雪量は54センチで、1月の平年値124センチの約4割にあたります。
- ★ ドライバーらは、一酸化炭素中毒を恐れてエンジンを切り毛布にくるまって夜を明かしたり、おにぎりや水を分け合ったりしました。

1面・特別面 7万人守った「夢の国」

2011年3月11日、震度5強の揺れに襲われた千葉県浦安市の東京ディズニーランドと、隣接する東京ディズニーシーには約7万人の来園者がいました。電車の運休などで帰宅困難となった約2万人が、園内で一晩を過ごしました。ケガ人は一人も出ませんでした。連載・東日本大震災10年「秘話」の2回目です。

- ★ 1995年の阪神大震災以降、「冬の午後6時、震度6強、来園者10万人」の想定で年180回に及ぶ訓練を繰り返していました。四つの行動基準の最優先は「来園者の安全」です。
- ★ 約1500人は、「夢の国」の来園者に見せるのはご法度だったバックヤードを通過して、安全な建物へと移動しました。

他紙と比べて

くらし家庭面の「医療ルネサンス」新シリーズは「アプリで健康に」。スマホの普及で続々と登場している健康作りに役立つアプリを紹介します。初回は禁煙継続のアドバイスが受けられるアプリ。昨年8月に医療機器として承認され、12月には公的医療保険が適用されました。1992年から7440回続く長寿企画。体験者や専門家に取材して、新しい医療を紹介し続けています。